

2026 年 5 月・6 月

167 号

第41回印日文化祭

印日文化祭は、日本語会話協会が主催する、最も大規模で期待されているイベントです。毎年、このイベントには多くの会員や日本文化に興味を持つ人々が集まり、日本語や日本文化、そしてインドと日本の深い絆を祝います。この絆は六世紀から続く文化交流に根ざしており、現在では特別な戦略的パートナーシップへと発展しました。このようなイベントを通して、私たちはその関係をさらに深めています。2026 年 3 月 14 に岡倉バワンで行れた今年のプログラムには、RMIC 言語学校の校長であるサブジュコリ・セン教授が主賓として出席され、また在コルカタ日本国総領事館の芦田克則首席領事もご参加くださいました。当日は、インドのフォークダンスや、日本の伝統的な踊りであるソーラン節、ラビンドラ音楽とダンス、深い意味のあるメッセージを伝える日本語劇「ジャムの木」など、さまざまな素晴らしいパフォーマンスが披露されました。さらに、兵庫県立大学、ジャパンプラブによるパフォーマンスや、創造的なコスプレ発表、「夢」バンド、そして日本語会話協会ソングなどが会場を盛り上げ、観客を楽しませました。

特に、芦田首席領事によるパフォーマンスは、このイベントに特別な魅力を加えました。最後はお茶が振る舞われ、参加者全員が文化的な調和と友情を感じながら、思い出に残る時を過ごしました。

スマナ・バッタチャルジー | 和訳：リティカ・ムカルジー

子供の日
5 月 5 日



思い立ったが吉日

マルビカ・サハさんとの面会

マルビカさんは、バードワン地方の教育省次長として働いたあと、退職しました。しかし、今もいろいろな分野で活動しています。現在は、ノース・カルカタ・フィルム・ソサエティや、コルカタのチョルバガンにあるスタヌティ・パリシャドの委員をしています。また、最近ではインドの寺院美術や建築の研究に特に興味を持ち、熱心に取り組んでいます。インタビューの一部

Q：どこで日本語を学びましたか？

A：最初はフェデレーション・ホール・ソサエティのインスティテュート・オブ・ランゲージで、スタパ・ダス先生に2年間教わりました。その後、バワニプール教育協会カレッジで、リマ・バス先生とブナム・ナンド・デイ先生のもとで、上級日本語コースを受けました。さらに IJLSS では、ニガム・カズコ先生に教えていただき、上級コースとアドバンスコースを修了しました。2007年には日本語能力試験（JLPT）4級に合格しました。その後、日本語アカデミーでクム・ナンディ先生に教わり、しばらく勉強を続けました。

Q：ほかの外国語も勉強されたそうですね？

A：はい。その後、18カ国語を話せるスリ・スヴェンドウ・サルカル先生のもとで、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語を勉強し始めました。また、フランス語とペルシャ語も学びました。

Q：日本語に関する活動について教えてください。

A：2004年に東インド地区の日本語スピーチコンテストに出場しました。2006年の第9回日本語クイズ大会では、シニア部門で優勝しました。また、池坊や IJWCA が主催する生け花のワークショップにも参加しました。

Q：趣味は何ですか？

A：旅行が好きです。インド国内のいろいろな場所を訪れたほか、スリランカ、エジプト、イラン、カンボジア、インドネシア、トルコ、アルジェリア、ギリシャ、アフガニスタンなどにも行きました。また、バチカン美術館やミラノ、ピサ、フィレンツェを巡るクルーズツアーにも参加しました。それぞれの国には違った魅力があり、とても興味深かったです。特にエジプトとトルコで体験した熱気球は、とても印象に残っています。

Q：ダンスも習われたそうですね？

A：はい。子どものころからダンスを習っていました。1968年には、インド芸術文化研究所から「ヌリティヤ・ポトウア」の称号をいただきました。1970年には全インド児童・青少年フェスティバルに参加し、カタックとオリエンタルダンスの部門で2位を取りました。また、ラビンドラ・バラティでダンスのディプロマも取得しました。その後も多くのダンスコンクールに参加し、いくつかの大会で賞を受賞しました。2003年には、イースタン・ゾーナル・カルチャー・センターのダンス鑑賞コースにも参加しました。さらに、ダンスだけでなく、シタールやエスラジの演奏も学びました。

Q：とても忙しい中で、たくさん勉強されていますね。

A：はい、それが私の情熱です。コルカタのゴールパークにあるラマクリシュナ・ミッションで、10か月間インド学のコースを学びました。また、美術鑑賞コースの第1期生としても参加しました。そのほかにも、ラジャ・チャルカラ・パルシャドの美術鑑賞コースを修了し、東インド考古学研究・研修センターが主催した「インドの建築」に関するセミナーにも参加しました。さらに、アジア協会のワークショップにも参加し、神話や社会文化などについて学びました。また、ラムモホン文学・自由読書室から「最優秀読者賞」をいただきました。デボバシャでのアルポナ・ワークショップや、ドクラ・アートのワークショップにも参加し、工芸品を作ったこともあります。これらの経験は、すべて私にとって大切な宝物です。

アローク・バス | 和訳：ロビンソン・ゴゴイ

日本語ドラマ
クラブ

日本のアニメや物語、演技、ダンス、歌や音楽が好きですか？

ここがあなたのステージです。表現し、演じ、もしかしたら新しい自分に出会えるかもしれません。

日本語ドラマクラブに参加して、一緒にもっと素晴らしいものを作りましょう。詳細は、Adesh Kumar Sahoo (8697307119) までお問い合わせください。

日本の同僚たち



2026年4月5日、スプラティク・シル・ロイさんによる、興味深く示唆に富んだオンライン講演が行われました。スプラティク氏は1年以上にわたり東京の大手日本企業に勤務しており、その中で培った仕事や日本人同僚との協働に関する貴重な経験を共有してくださいました。彼が私たちに語ってくれたのは、組織全体に浸透している、仕事に対する、そして互いに対する極めて深い敬意、献身、調和、そして厳格な規律についてでした。組織全体に「集団文化」あるいは「集団システム」が根付いており、各グループ内には、いわゆる「お互い様」の精神に基づく、強固な連帯の絆が存在しています。スプラティクさんの言葉を借りれば、「グループ内で起きたことは、グループ内に留まる」のです。もしグループ内の誰かがつまづくようなことがあれば、グループ全体が一致団結してその人を支え、助けに入ります。しかし、仕事一辺倒で遊びがないというわけではありません。地元の居酒屋などで「飲み会」が開かれることもあります。こうした社交的な集まりは、忘年会のように公式なものである場合もあれば、グループ単位での非公式な集まり、あるいは単に社員同士が二人きりで飲みに行くといった気軽なものである場合もあります。驚くべきことに、会社側はこうした飲み会を推奨しており、時にはその費用を負担してくれることさえあるのです！連帯の精神、規律、献身、情熱、そして会社に対する社員一人ひとりのビジョン——これこそが、彼の極めて有益かつ魅力的なプレゼンテーションから私たちが得た最大の収穫でした。今後も、このような素晴らしいお話を伺える機会があることを願っています。

プーナム・ナンド・デイ | 和訳：プリヤンカ・バグチ



煮干しラーメン

干しイワシのだしを使ったスープ

日本のラーメンをちょっとのぞいてみましょう



味噌ラーメン

味噌ペーストをかつおと昆布のだしに溶かし込んだもの



豚骨ラーメン

豚足や骨から抽出したスープ



イカラーメン

イカの旨味を加えて仕立てたかつおだし

なぞなぞ

- クシュブ・アガルワル

お料理なのに、食器だって言われるものな—
んだ？



2025 年 11 月・12 月のなぞなぞの答
はやしライス

今後の
イベント

2026 年 5 月 16 日 (土)
午後 5 時

俳句ワークショップ

～ニルマル・クマール・ダス先生

詳細はメールで送信

2026 年 6 月 20 日 (土)
午後 5 時

年次総会

とブックバザー

Asutosh Mookerjee Memorial
Institute

2026 年 6 月 21 日 (土)
午後 5 時

JLPT N5 準備

～バピア先生とスマナ先生

詳細はメールで送信

穴埋め

- アデシュ・クマール・サフ



真ん中の空いているところに漢字を一つ入れて、そこ
にある四つの字と組み合わせると、それぞれ意味を持
つ単語ができるようにしてください～

穴埋めの答え - 2026 年 3 月・4 月

おんわ
温和

Mild

へいわ
平和

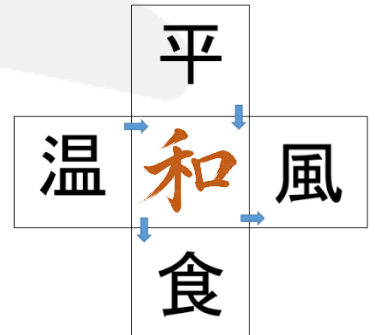
Peace

わふう
和風

Japanese style

わしょく
和食

Japanese cuisine



ビデオを見るために QR

コードを使用してください！

第 4 1 回印日文化祭



こちらへクリック

明日へ響く音



こちらへクリック

BOOK POST

If undelivered please return to:
NIHONGO KAIWA KYOOKAI SOCIETY
2B, SHIVANGAN 53/1/2, HAZRA ROAD
KOLKATA - 700 019